

令和2年度
全国学力・学習状況調査

解説資料

児童生徒一人一人の学力・学習状況に応じた
学習指導の改善・充実に向けて

小学校 国語



令和2年7月
国立教育政策研究所
教育課程研究センター

目 次

| | |
|-------------------------------------|----|
| 令和２年度 全国学力・学習状況調査 解説資料について | 1 |
| I 小学校国語科の調査問題作成に当たって | 5 |
| II 調査問題一覧表 | 9 |
| III 調査問題の解説（出題の趣旨，解説，解答類型等） | 11 |
| 1 事物のよさを調べ，自分の考えを発表する（インスタント食品） | 12 |
| 2 提案する文章を書く（わたしたちにできる「プラスチックの３Ｒ週間」） | 18 |
| 3 本を選んで友達に紹介する（棕鳩十「金色の足あと」） | 28 |
| IV 解答用紙（正答（例）） | 37 |
| V 点字問題（抜粋） | 41 |
| VI 拡大文字問題（抜粋） | 49 |

令和2年度 全国学力・学習状況調査 解説資料について

◆ 目的

本資料は、令和2年度全国学力・学習状況調査の実施後、各教育委員会や学校が速やかに児童生徒の学力や学習の状況、課題等を把握するとともに、それらを踏まえて調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実等に取り組む際に役立てることができるように作成したものです。

◆ 特徴

「教科に関する調査」の各問題について、学習指導の改善・充実を図るための情報を盛り込んでいます。

「教科に関する調査」の各問題について、出題の趣旨、学習指導要領における領域・内容、解答類型、正答や予想される解答の解説、学習指導の改善・充実を図るための情報等を記述しています。

全ての先生が、学習指導の改善・充実に活用できるものを目指して作成しています。

本調査は、小学校においては第5学年まで、中学校においては第2学年までに、十分に身に付け、活用できるようにしておくべきと考えられる内容を出題していますので、調査の対象学年だけではなく、全学年を通じた学習指導の改善・充実を図るための参考とすることができます。各問題の「学習指導要領における領域・内容」には、該当する学年を示していますので、学校全体で組織的・継続的な取組を展開する際に活用できます。

各学校等において、調査問題を活用できるように作成しています。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症に係る学校教育への影響等を考慮し、全国学力・学習状況調査としての調査は実施しないこととしましたが、各学校や教育委員会等において、調査問題の活用を通じて、日々の学習指導の改善・充実を図ることができるように作成しています。

一人一人のつまずきが見えるように「解答類型」を設けています。

本調査では、児童生徒一人一人の具体的な解答状況を把握することができるように、設定する条件等に即して解答を分類、整理した「解答類型」を設けています。

「解答類型について」で、つまずきの分析ができるように解答類型の説明をしています。正誤だけではなく、一人一人の解答の状況（どこでつまずいているのか）等に着目して、学習指導の改善・充実を図ることができます。

関連する過去の資料も活用できるように作成しています。

関連する過去の調査の解説資料や報告書等の該当ページも記載しています。

学習指導の改善・充実を図る際は、これらの資料も併せて活用すると一層効果的です。

※過去の解説資料・報告書等は、国立教育政策研究所のウェブサイトで見ることができます。

(<https://www.nier.go.jp/kaihatu/zenkokugakuryoku.html>)

◆ 本資料の活用にあたって

I 調査問題作成にあたって

調査問題作成の基本理念、問題作成の枠組みについて解説しています。

II 調査問題一覧表

問題の概要、出題の趣旨、関係する学習指導要領の領域等、評価の観点、問題形式を一覧表にまとめています。

Ⅲ 調査問題の解説

調査問題について、出題の趣旨、解説（学習指導要領における領域・内容、解答類型）等を記述しています。（問題によっては、記述のない項目もあります。）

調査問題を縮小して掲載しています。
※著作権の都合により一部を省略しているものもあります。

1. 出題の趣旨

問題ごとに出題の意図、把握しようとする力、場面設定などについて記述しています。

2. 解説

趣旨

問題ごとの出題の意図、把握しようとする力などを示しています。

■学習指導要領における領域・内容

調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実を図る際に参考となるように、関係する学習指導要領における領域・内容を示しています。

■評価の観点

問題に関係する評価の観点を示しています。

解答類型（下欄の＊を参照）

児童生徒一人一人の解答状況を把握することができるように、問題における解答類型を示しています。

※図はイメージです。

教科名○

問題画像

1. 出題の趣旨

.....
.....
.....

2. 解説

設問○

趣旨

.....
.....

■学習指導要領における領域・内容

【第○学年】
.....

■評価の観点

.....

解答類型

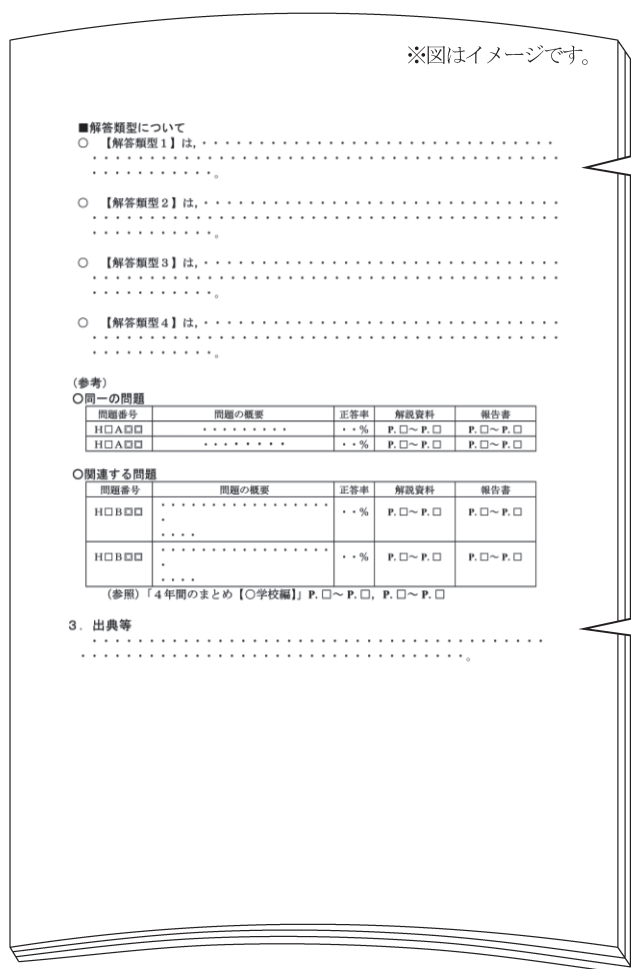
| 問題番号 | 解答類型 | 正答 |
|------|---------|----|
| 1 | | ◎ |
| 2 | | ○ |
| 3 | | ○ |
| 4 | | ○ |
| 99 | 上記以外の解答 | ○ |
| 0 | 無解答 | ○ |

* 児童生徒一人一人の解答状況を把握するために

＜解答類型＞ 児童生徒一人一人の具体的な解答状況を把握することができるように、設定する条件等に即して解答を分類、整理したものです。解答例を示すとともに、「解答類型について」の解説を加えていますので、児童生徒一人一人の解答の状況（どこでつまづいているのか）等に着目した学習指導の改善・充実を図る際に活用することができます。

＜正 答＞ 「◎」…解答として求める条件を全て満たしている正答
「○」…問題の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答

＜類型番号＞ 類型 1～38（最大）… 正答・予想される解答
（複数の類型が正答となる問題もある）
類型 99 … 「上記以外の解答」
（類型 1～38 までは含まれない解答）
類型 0 … 「無解答」（解答の記入のないもの）



■解答類型について

予想される解答から、身に付いている力や考えられるつまずき等を記述しています。

(参考)

過去の関連する問題，解説資料，報告書等を記載しています。

3. 出典等

著作物からの出題の場合に，出典及び著作権者等について示しています。また，問題作成に当たって参考としたものについても示しています。

IV 解答用紙（正答（例））

調査問題の解答用紙に正答（例）を記述したものを掲載しています。

V 点字問題（抜粋）

点字問題の一部を，当該問題の解答類型及び作成に当たって配慮した点などとともに掲載しています。

VI 拡大文字問題（抜粋）

拡大文字問題の一部を，当該問題の通常問題及び作成に当たって配慮した点などとともに掲載しています。

※本資料では，以下の資料については略称を用いています。

| 資料 | | | 略称 |
|---------------------------------|------|--------|------------------|
| 「平成○年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 ○学校 ○○」 | 解説資料 | ○学校 ○○ | 「平成○年度【○学校】解説資料」 |
| 「平成○年度 全国学力・学習状況調査 報告書 ○学校 ○○」 | 報告書 | ○学校 ○○ | 「平成○年度【○学校】報告書」 |

I 小学校国語科の調査問題作成に当たって

小学校国語科の調査問題作成に当たって

1 調査問題作成の基本理念について

「全国的な学力調査の今後の改善方策について（まとめ）」（平成29年3月）では、「全国学力・学習状況調査の調査問題については、新しい学習指導要領が求める育成を目指す資質・能力を踏まえ、それを教育委員会や学校に対して、具体的なメッセージとして示すものとなるよう検討を進める。」としている。

平成29年3月に公示された小学校学習指導要領（平成29年告示。以下「新学習指導要領」という。）は、教科等の目標や内容について、生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」という三つの柱に基づいて再整理されており、これらの資質・能力の三つの柱は相互に関係し合いながら育成されるものという考え方に立っている。

平成31年度以降の調査問題では、こうした新学習指導要領の考え方への各教育委員会や各学校の理解を促すため、従来の「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」に区分するといった整理を見直して、一体的に調査問題を構成することとした。

なお、「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について（報告）」（平成18年4月）では、具体的な調査問題の作成に当たって、「調査問題自体が学校の教員や児童生徒に対して土台となる基盤的な事項を具体的に示すものであり、教員による指導改善や、児童生徒の学習改善・学習意欲の向上などに役立つとの視点が重要である」としていることにも留意する必要がある。

以上の点等を踏まえ、本調査の調査問題は、新学習指導要領の考え方、国際的な学力調査の考え方や調査結果及び課題等も考慮しつつ、現行の小学校学習指導要領（平成20年告示。以下「学習指導要領」という。）に示された国語科の目標及び内容等に基づいて作成することを基本とした。

2 調査問題作成の枠組み

（1）領域等と評価の観点について

学習指導要領に示されている3領域1事項（「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕）に基づいて、その全体を視野に入れながら中心的に取り上げるものを精選した。なお、小学校第5学年までの内容となるようにしている。

※ 「話すこと・聞くこと」の領域については、児童が実際に話したり聞いたりするような調査を行うことが難しいため、場面設定・状況設定などを工夫して、話す・聞く活動にできるだけ近付けた出題となるようにした。

さらに、学習指導要領の総則「指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項」に示されている以下の点にも配慮した。

- 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること。
- 各教科等の指導に当たっては、児童の思考力、判断力、表現力等をはぐくむ観点から、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動を重視するとともに、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え、児童の言語活動を充実すること。
- 各教科等の指導に当たっては、体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習を重視するとともに、児童の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫すること。
- 各教科等の指導に当たっては、児童が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるよう工夫すること。
- 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること。

評価の観点については、国語科で行われている評価の五つの観点を用い、「国語への関心・意欲・態度」、「話す・聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」、「言語についての知識・理解・技能」とした。なお、「国語への関心・意欲・態度」については、主に質問紙調査によってみることにしている。

（２）問題形式について

問題の形式は、選択式、短答式、記述式の３種類としている。

記述式の問題では、複数の考え方、答え方があるものなどについて出題している。

◆ 点字問題、拡大文字問題、ルビ振り問題の作成について

本調査では、視覚障害等のある児童生徒及び日本語指導が必要な児童生徒等に配慮した調査問題（点字問題、拡大文字問題、ルビ振り問題）を作成している。

点字問題では、全体を点訳するとともに、点字による図版等の認知に伴う負担等を考慮し、図版等の情報の精査（グラフを表にしたり、記述による説明に替えたりするなど）を行ったり、出題の趣旨を踏まえつつ代替問題を作成したりするなどの配慮を行っている。

拡大文字問題では、対象となる児童生徒の見え方やそれに伴う負担等を考慮し、文字や図版等を拡大するとともに、文字のフォントや図版等の線の太さ・濃さ、コントラスト、レイアウト等を変更するなどの配慮を行っている。

Ⅱ 調查問題一覽表

調査問題一覧表 【小学校国語】

| 問題番号 | 問題の概要 | 出題の趣旨 | 学習指導要領の領域等 | | | | 評価の観点 | | | | 問題形式 | | | |
|------|---|----------------------------------|------------|---|--------------------|----------------------------------|----------------------------|-----------------------------|------------------|------------------|--|-------------|-------------|-------------|
| | | | 聞話 | 書 | 読 | 国伝 語の 特質 に言 語事 化項 | 関心 ・語 意欲 ・文 態度 | 話 す ・聞 く 能 力 | 書 く 能 力 | 読 む 能 力 | 知言 識語 ・に 理 解 ・い 技 能 | 選 択 式 | 短 答 式 | 記 述 式 |
| 1 | 一 インスタント食品のよさについての取材の進め方の説明として適切なものを選択する | 目的に応じた取材の進め方を捉える | 5・6 ア | | | | | ○ | | | | ○ | | |
| | 二 インスタント食品のよさについての取材における、メモの取り方の説明として適切なものを選択する | 目的に応じたメモの取り方を捉える | 3・4 ア | | | | | ○ | | | | ○ | | |
| | 三 インスタント食品のよさについての【発表の様子】の□□に、取材を通して分かったことを取り上げて書く | 目的や意図に応じ、取材内容を基にして、自分の考えをまとめる | 5・6 エ | | | | ○ | ○ | | | | | | ○ |
| 2 | 一 プラスチックの3R週刊を提案する【下書き①】の最初の□□の内容を、どのように工夫して書いているのか、適切なものを選択する | 目的や意図に応じて、文章全体の構成を考える | 5・6 イ | | | | | | ○ | | | ○ | | |
| | 二 プラスチックの3R週刊を提案する【下書き①】の□□に、【本の一部】からプラスチックがずっと残ってしまう理由を書く | 事実と意見とを区別して書く | 5・6 フ | | | | ○ | | ○ | | | | | ○ |
| | 三 プラスチックの3R週刊を提案する【下書き②】の「プラスチックの3R週刊 チャレンジ表」をどのような目的で書いているのか、適切なものを選択する | 表を用いた目的を捉える | 5・6 エ | | | | | | ○ | | | ○ | | |
| | 四(1) ア プラスチックの3R週刊を提案する【下書き①】の中の——部アを、漢字を使って書き直す（ひじょうにおどろきました） | 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う | | | | 5・6 (1)ウ (ア) | | | | | ○ | | ○ | |
| | 四(2) イ プラスチックの3R週刊を提案する【下書き①】の中の——部イを、送り仮名に気を付けて書き直したのとして適切なものを選択する（考えをあらため） | 送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使う | | | | 5・6 (1)イ (ウ) | | | | | ○ | ○ | | |
| 3 | 四(2) ウ プラスチックの3R週刊を提案する【下書き②】の中の——部ウを、送り仮名に気を付けて書き直したのとして適切なものを選択する（たしかめましょう） | | | | | 5・6 (1)イ (ウ) | | | | | ○ | ○ | | |
| | 五 プラスチックの3R週刊を提案する【下書き①】の[A]の文を、-----部と——部とのつながりに気を付けて書き直す | 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く | | | | 3・4 (1)イ (キ) | | | | | ○ | | ○ | |
| | 一 「金色の足あと」を読み、【ふせん①】の□□に入る内容として適切なものを選択する | 叙述を基に場面の様子を捉え、登場人物の気持ちを想像する | | | 3・4 ウ | | | | | ○ | | ○ | | |
| | 二(1) 「金色の足あと」の——部イの文で、〰〰部「長い」がくわしくしている言葉として適切なものを選択する | 文の中における修飾と被修飾との関係捉える | | | 3・4 (1)イ (キ) | | | | | | ○ | ○ | | |
| | 二(2) 「金色の足あと」の——部ウの文で、〰〰部「しきりに」がくわしくしている言葉として適切なものを選択する | | | | 3・4 (1)イ (キ) | | | | | | ○ | ○ | | |
| | 三 「金色の足あと」を読み、木村さんが、【ふせん③】で正太郎が感動したと考えている内容として適切なものを選択する | 登場人物の相互関係に基づいた行動を表す叙述から、心情を捉える | | | 5・6 エ | | | | | ○ | | ○ | | |
| | 四 木村さんが、「金色の足あと」の——部アを——部ア、エと関係付けて読み、【ふせん④】のように書いた理由の説明として適切なものを選択する | 複数の叙述を関係付け、登場人物の心情について自分の考えをまとめる | | | 5・6 エ | | | | | ○ | | ○ | | |

Ⅲ 調査問題の解説

（出題の趣旨，解説，解答類型等）

国語 1 事物のよさを調べ、自分の考えを発表する（インスタント食品）

1 青木さんの学級では、食生活について興味をもったことを調べ、学級の友達に発表することになりました。青木さんは、インスタント食品について調べています。次は、「青木さんの考え」です。

【青木さんの考え】

インスタント食品にはどのようなよさがあるのだろう。ぼくは、簡単に作ることができておいしいところだと思ふけれど、他の人は、どのようなよさを感じているのかな。家でも食べることがあるから、家の人に聞いてみよう。

青木さんは、取材をして情報を集めています。次は、青木さんが取材をした「家の人の話」、「スーパーマーケットの店長の話」、「一人暮らしの森さんの話」と、青木さんの「メモ①」、「メモ②」、「メモ③」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【家の人の話】

インスタント食品は、調理が簡単にできるから、いそがしいときには助かっているよ。それに、ずいぶん味がよくなったと思う。

それだけではなく、軽くて持ち運びが楽というところもあるわね。キャンプや登山に行くときには、カップラーメンやカップスープが便利だね。他にも、いろいろな種類が売られているようね。

いろいろな種類が売られている、と言ってはいたけれど、どのようなインスタント食品があるのかな。近所のスーパーマーケットの人に聞いてみよう。

【スーパーマーケットの店長の話】

いろいろなインスタント食品がありますよ。最近では、次々に新製品が発売され、クレイジーシュー、パスタなど、いろいろな種類があり、好みに合わせて選ぶことができますと好評です。

また、フリーズドライという製法で作られたものがありますよ。調理が簡単だけでなく、栄養価が保たれ、もとの味やかおりとほとんど変わらないという特徴があります。

インスタント食品は、一食分で売られているものが多いので、一人暮らしの方にも買われているみたいです。

一人暮らしの人にもよく買っている、と言ってはいたけれど、一人暮らしの人が感じているよさも知りたいな。近所の森さんに聞いてみよう。

【一人暮らしの森さんの話】

インスタント食品は、調理が簡単です。一人だけ作ることができるので、作りすぎたり、食材をむだにしたりすることが少なくて助かっています。

それに、年をとると買い物に行くのも大変ですが、インスタント食品は長持ちするので、買い置きができて便利です。

森さん

メモ③

4/17（日）

○取材をした相手
一人暮らしの森さん

○インスタント食品のよさ

- ・一人だけ作ることができるから作りやすい
- ・食材をむだにすることが少ない
- ・長持ちするので買い置きができる

店長

メモ②

4/18（土）

○取材をした相手
スーパーマーケット店長

○インスタント食品のよさ

- ・好みに合わせて選ぶことができる
- ・クレイジーシュー、パスタなど
- ・フリーズドライ製法は栄養価が保たれる
- ・もとの味やかおりとほぼ変わらない

家の人

メモ①

4/17（金）

○取材をした相手
家の人

○インスタント食品のよさ

- ・軽くて持ち運びが楽
- ・いろいろな種類がある

青木さん

- 1 青木さんの取材の進め方の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
 - 2 疑問を解決するために、必要な情報を得ることができそうな相手を選んで取材をしている。
 - 3 どのような傾向があるのかを数値を使って示すために、多くの人に取材をしている。
 - 4 多様な考えを知るために、賛成と反対の両方の立場の人に取材をしている。
- 1 青木さんは、取材をしたことをメモに書き留めています。青木さんの「メモ①」、「メモ②」、「メモ③」のメモの取り方の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
 - 2 相手が話したことを全てそのまま書き留めている。
 - 3 話している相手の表情や様子などを書き留めている。
 - 4 関係する情報と情報とを線で結びながら書き留めている。
 - 5 自分が知ったことを中心に書き留めている。



今、身の回には、たくさんのレストラン食品があり、ぼくの家でも食べる
 ことがあります。それは、「簡単」「おいしい」というところがレストラン食品の
 よさだと思っています。しかし、それ以外にも、もっとよさがあるのではないかと
 思いました。そこで、身近な人に取材をしてみたところ、いろいろなよさが
 ばぐが、みなさんに伝えたいインスタント食品のよさは、

みなさんは、どのようなところがよさだと思いますか。

○「メモ①」から「メモ③」までの中から、伝えたいインスタント食品のよさを取り上げて書くこと。なお、取り上げるようなものは一つでも二つ以上でもよい。

○実際に発表をしているような目撃者つかいすること。

四十文字以上、六十文字以内にまとめて書くこと。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで何を変えないで、続けて書きましょう。

ぼくが、みなさんに伝えたいインスタント食品のよさは

[illegible]

必要な情報を得るために、工夫して取材をしたり、取材したことを基に自分の考えをまとめたりすることができるかどうかをみる。

本問では、食生活について興味をもったことを調べ、学級の友達に発表する場面を設定した。青木さんは、インスタント食品のよさについて調べるために、必要な情報を得ることができそうな相手を選んで取材をし、分かったことを基に自分の考えをまとめて発表している。ここでは、課題解決に向け、取材の進め方やメモの取り方を工夫したり、自分の意見と比べて考えをまとめたりすることが求められる。

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

— 13 —

2. 解説

設問一

趣旨

目的に応じた取材の進め方を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

ア 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係付けること。

■評価の観点

話す・聞く能力

解答類型

| 問題番号 | | 解 答 類 型 | | 正 答 |
|------|---|---------|-------------|-----|
| ① | 一 | 1 | 1 と解答しているもの | ◎ |
| | | 2 | 2 と解答しているもの | |
| | | 3 | 3 と解答しているもの | |
| | | 4 | 4 と解答しているもの | |
| | | 99 | 上記以外の解答 | |
| | | 0 | 無解答 | |

■解答類型について

- 青木さんが、収集した情報を整理するとともに、新たな興味や疑問をもったことを解決するために、適切な相手を選んで取材をしているということを捉える必要がある。
- 【解答類型1】は、青木さんが、必要な情報を得るために適切な相手を選んで取材をしているということを捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型2～4】は、青木さんが、どのような意図をもって取材相手を選んでいるかを捉えることができていると考えられる。

なお、別の場面においては、本設問の選択肢2の「くわしい情報を得るために、一度意見を聞いた相手にくり返し取材を」すること、選択肢3の「どのような傾向があるのかを数値を使って示すために、多くの人に取材を」すること、選択肢4の「多様な考えを知るために、賛成と反対の両方の立場の人に取材を」することも、それぞれ取材の進め方として考えられる。

- ・ 選択肢2は、取材をする事柄について、特定の相手からより多くの情報や詳しい情報を得ようとするときなどに、このような取材をすることが考えられる。
- ・ 選択肢3は、取材をする事柄について、不特定多数から回答を得て全体の傾向をつかもうとするときなどに、このような取材をすることが考えられる。
- ・ 選択肢4は、取材をする事柄について、相反する立場の考えを聞いて多様に捉えようとするときなどに、このような取材をすることが考えられる。

設問二

趣旨

目的に応じたメモの取り方を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕 A 話すこと・聞くこと

ア 関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモすること。

■評価の観点

話す・聞く能力

解答類型

| 問題番号 | | 解 答 類 型 | | 正答 |
|------|---|------------------------|-------------|----|
| ① | 二 | 1 | 1 と解答しているもの | |
| | | 2 | 2 と解答しているもの | |
| | | 3 | 3 と解答しているもの | |
| | | 4 | 4 と解答しているもの | ◎ |
| | | 99 | 上記以外の解答 | |
| | | 0 | 無解答 | |

■解答類型について

- メモの取り方には様々なものがあり、目的に合わせてどのようにメモを取ることが適切かを考えることが大切である。ここでは、青木さんが、自分の知りたかったことを中心にメモに書き留めているということを捉える必要がある。

 なお、青木さんは、「簡単」、「おいしい」というよさは取材前に考えていたことであり、メモには書き留めないという工夫もしている。
- 【解答類型1～3】は、青木さんの「自分が知りたかったことを中心に書き留めている」というメモの取り方を捉えることができていると考えられる。

 なお、取材の目的や取材した内容をどのように活用するかによって、本設問の選択肢1の「相手が話したことを全てもらさずそのまま書き留め」る、選択肢2の「話している相手の表情や様子などを書き留め」る、選択肢3の「関係する情報と情報とを線で結びながら書き留め」るといったメモの取り方をすることも考えられる。
- 【解答類型4】は、青木さんの「自分が知りたかったことを中心に書き留めている」というメモの取り方を捉えることができていると考えられる。

設問三

趣旨

目的や意図に応じ、取材内容を基にして、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度

話す・聞く能力

解答類型

| 問題番号 | 解 答 類 型 | 正答 |
|------|--|----|
| ① | 三 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【メモ①】から【メモ③】までの中から、伝えたいインスタント食品のよさを一つ又は二つ以上取り上げて書いている。 ② 実際に発表をしているような言葉遣いで書いている。 ③ 40字以上、60字以内で書いている。 (正答例) ・ いろいろな種類があるので好みに合わせて選ぶことができることや、一人分だけ作ることができるので作りすぎないところです。(59字) ・ 長持ちするので買い置きをすることができて、買い物に行くことができないときや、きん急時の備えになるというところです。(57字) | |
| | 1 条件①, ②, ③を満たしているもの | ◎ |
| | 2 条件①, ②は満たしているが、条件③は満たしていないもの | |
| | 3 条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 | |
| | 4 条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 | |
| | 99 上記以外の解答 | |
| | 0 無解答 | |

■解答類型について

- 青木さんは、「簡単に作ることができておいしいところだと思うけれど、他の人は、どのようなよさを感じているのかな」と考えている。このことから、青木さんは、「簡単」、「おいしい」以外のインスタント食品のよさについて調べることを目的として、取材を進めているということをつめる必要がある。
- 【解答類型1】は、【メモ①】から【メモ③】までの中から、伝えたいインスタント食品のよさを一つ又は二つ以上取り上げ、実際に発表をしているような言葉遣いで、40字以上、60字以内で書いている。
- 【解答類型2】は、【メモ①】から【メモ③】までの中から、伝えたいインスタント食品のよさを一つ又は二つ以上取り上げ、実際に発表をしているような言葉遣いで書いている。しかし、40字以上、60字以内で書いていない。
- 【解答類型3】は、【メモ①】から【メモ③】までの中から、伝えたいインスタント食品のよさを一つ又は二つ以上取り上げて書いている。しかし、実際に発表をしているような言葉遣いで書いていない。具体的な例としては、以下のようなものが考えられる。

(例)

- ・ 軽くて持ち運びが楽でいろいろな種類があるので好みに合わせて選ぶことができ、一人分だけ作ることができるから作りすぎない。(59字)

- 【解答類型4】は、実際に発表をしているような言葉遣いで書いている。しかし、【メモ①】から【メモ③】までの中から、伝えたいインスタント食品のよさを取り上げて書いていない。具体的な例としては、以下のようなものが考えられる。

(例)

- ・ お湯をそそぐだけでラーメンやスープなどを作ることができるそうです。かん単なのに、とてもおいしいです。(51字)

(参考)

○関連する問題

| 問題番号 | 問題の概要 | 正答率 | 解説資料 | 報告書 |
|------|---|-------|-------------|-------------|
| H31三 | 【インタビューの様子】の イ に、 豊職人の仕事への思いや考えに着目して 心に残ったことを書く | 68.3% | P. 32～P. 41 | P. 48～P. 58 |

3. 出典等

漫画 山口育孝 構成 YHB編集企画『学研まんがでよくわかるシリーズ フリーズドライのひみつ』(2017年12月 学研プラス), 日本栄養・食糧学会編『栄養・食糧学用語辞典 第2版』(2015年5月 建帛社), 五十嵐脩・一島英治・大賀圭治・小林彰夫・田島眞・田村真八郎・中村良編『食料の百科事典』(2001年11月 丸善), 食品保存と生活研究会『おもしろサイエンス 食品保存の科学』(2012年1月 日刊工業新聞社)などを参考にした。

国語 2 提案する文章を書く（わたしたちにできる「プラスチックの3R週間」）

【下書き②】

■ やってみよう プラスチックの3R

家の人といっしょに、まずは1週間、プラスチックごみを減らすことに取り組んでみませんか。実行できたら□の中に印を入れ、どのくらい実行できているのかをうたしかめましょう。他にも具体的な行動が見つかったら、書き加えて実行してみよう。

プラスチックの3R週間 チャレンジ表

| 3 R | 具体的な行動 |
|--|--|
| 減らそう リデュース (Reduce) | <input type="checkbox"/> バックを持参し、レジぶくろをもらわない <input type="checkbox"/> ふたつき容器を使い、ラップの使用を減らす <input type="checkbox"/> コップから飲み、ストローを使わない <input type="checkbox"/> 水どうを持ち、ペットボトルを買う回数を減らす <input type="checkbox"/> |
| くり返し 使おう リユース (Reuse) | <input type="checkbox"/> シャンプーは詰めかえ用を買い、容器をくり返し使う <input type="checkbox"/> 液体石けんは詰めかえ用を買い、容器をくり返し使う <input type="checkbox"/> |
| 責げんに 変えよう リサイクル (Recycle) | <input type="checkbox"/> ペットボトルをあらい、せん用の場所にすてる <input type="checkbox"/> 食品用のトレイをあらい、せん用の場所にすてる <input type="checkbox"/> |

【下書き①】

提案します わたしたちにできる「プラスチックの3^{ルール}R週間」

■ 知っていますか プラスチックごみの問題

わたしたちの周りには多くのプラスチック製品があります。例えば、ペットボトル、ストロー、レジぶくろなどです。プラスチック製品のおかげで、わたしたちは便利な生活を送ることができています。

しかし、これらのプラスチック製品がごみになると、大きな問題になります。最近の新聞には、海岸に打ち上げられたクジラの胃の中からペットボトルなどが発見されたという記事や、森のサルがプラスチックごみを食べてしまったという記事がありました。わたしは、プラスチックごみを生き物に取って代へないようをあたえていくことにアヒョウにおこりました。かみ境省のホームページによると、世界のプラスチック容器の生産量は、1964年は1500万トンだったのが、2014年には3億1100万トンになっているそうです。以前に比べて増えていることが分かります。

プラスチックは時間がたつと分解されてなくなるだろうと
考えている人がいるかもしれません。けれども、

■ みんなで減らそう プラスチックごみ

わたしは、便利だからといってプラスチックを当たり前のように使っているのを**い**あらため、プラスチックごみを減らすためにできることをしたいと思います。そこで、わたしたちにできる「プラスチックの**3R**週間」を提案します。**3 R**とは、ごみそのものを減ら**す**リデュース (Reduce)、**り**返し使うリユース (Reuse)、ごみを**づ**ぎ人に**ま**え、**ま**が**り**利用するリサイクル (Recycle) のことです。

わたしたち一人一人の力はとても小さいかもしれません。
しかし、その力が積み重なれば大きなものになります。
A 大切なことは、行動することが大切だと思います。

岩田さんの学級では、生活の中で気になったことについて調べています。岩田さんは、プラスチックごみの問題について調べ、ごみを減らすための行動について学級の友達に提案することになりました。次は、岩田さんが書いている文章の「下書き①」と「下書き②」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【本の一部】「プラスチックのひみつ」という題名の本

◇ プラスチックを賢く使おう

プラスチックは、軽くて丈夫で持ち運びがしやすいうえ、さまざまな製品に加工することができます。わたしたちの生活を見回してみると、プラスチック製品はどんどん増えていて、生活になくてはならないものとなっています。

こんなに便利なプラスチックですが、実はプラスチックの多くは自然には分解されません。植物や動物などから作られるものは、土や水の中で微生物によって分解され、なくなってしまうのです。しかし、わたしたちの身の回りで使用されているプラスチックはほとんどが石油から作られているので、自然の中では分解されません。そのため、ずっと残ってしまうのです。

けれども、

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

二 岩田さんは「下書き①」の [] に、プラスチックがずつと残ってしまう理由を書くことにしました。そのために資料を探し、本を見つけました。次は、その「本の一部」です。 [] に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

○【本の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。

○ 岩田さんが、何という本から言葉や文を取り上げて書いたのが分かるように書くこと。

○ 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、八十字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は



岩田さん

- 1 疑問に思ったことを最初に書いている。
- 2 身近にある具体例を最初に書いている。
- 3 行動することの重要性を最初に書いている。
- 4 全体を要約した文章を最初に書いている。

一 岩田さんは、読者にプラスチックごみの問題を自分のこととしてとらえてほしいと考え、構成をくふうし、**下書き①**の最初に の内容を書いています。そのくふうとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

三 岩田さんは、どのような目的で【下書き①】に続けて【下書き②】の「プラスチックの3R週間チャレンジ表」を書いていきますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 3Rの中で、どのような行動をしている人が多いのかを明らかにするため。
- 2 3Rをもとにして、学級のみんなが取り組んだことを紹介するため。
- 3 3Rを家族で分担し、自分の役割を明確にしようとするため。
- 4 3Rを意識して、自分にできることを考え実行しようとするため。

四 岩田さんは、【下書き①】と【下書き②】を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた部分ア、イ、ウを漢字に書き直すことにしました。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 部アを漢字でいねいに書きましょう。

記事がありました。わたしは、プラスチックごみが生き物に深くないえきょうをあたえていることにアひじょうにおどろきました。かん境省のホームページによると、世界の

| | |
|---|--|
| ア | |
|---|--|

※解答は、解答用紙に書きましょう。

(2) 部イとウを書き直したものととして適切なものを、次の1から3までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

わたしは、便利だからといってプラスチックを当たり前のように使うという考えをイあらため、プラスチックごみを減らすためにできることをしたいと思いました。そこで、

- 1 改らため
- 2 改ため
- 3 改め

家の人といっしょに、まずは1週間、プラスチックごみを減らすことに取り組んでみませんか。実行できたら□の中に印を入れ、どのくらい実行できているのかをうたしかめましょう。

- 1 確しかめ
- 2 確かめ
- 3 確め

五 岩田さんは、【下書き①】で、【ア】の文の……部と部とがうまくつながっていないことに気がつき、この文を書き直すことにしました。文の意味が変わらないように、□の中に続きを書きましょう。

【A】大切なことは、行動することが大切だと思います。

大切なことは、

| |
|--|
| |
|--|

※解答は、解答用紙に書きましょう。

1. 出題の趣旨

目的や意図に応じ、文章全体の構成や表現を工夫して提案する文章を書くことができるかどうかをみる。

誰かに協力を求めたいときに、提案する文章を書いて伝えることがある。提案する文章は、提案内容に基づいて実際に行動に移してもらうことが目的であり、読み手に提案を受け入れてもらうことができるように書く必要がある。そのためには、提案理由が明確であること、提案内容が実現可能で具体的なものであること、提案を行動に移したときにどのような利点があるのかを明示することなどが大切である。また、目的や意図に応じて構成を考えて書いたり、説得力を増すために信頼性の高い情報を用いて書いたり、図表を用いて分かりやすくまとめて示したりするなど、書き方を工夫することも大切である。

本問では、生活の中で気になっているプラスチックごみの問題について調べ、学級の友達にプラスチックごみを減らす行動をしようと提案する文章を書く場面を設定した。岩田さんは、プラスチックごみが生き物に影響を与えていることに驚き、環境省のホームページや「プラスチックのひみつ」という本を調べ、根拠を示しながらプラスチックごみの問題の深刻さについて説明している。加えて、プラスチックごみを減らすための具体的な行動の例示もしている。ここでは、構成を工夫すること、事実と意見とを書き分けること、目的や意図に応じて表を用いて書くことが求められる。また、人に向けて書く文章であることから、特に、漢字を正しく書くこと、主語と述語との関係に注意して文を書くことも求められる。

なお、設問**五**は、平成27年度国語A**2**二（正答率71.9%）「文を構成する主語と述語との照応関係を捉えること」、平成30年度国語A**5**（正答率35.8%）「文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くこと」に課題が見られたことを踏まえて出題した。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

イ 自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること。

2. 解説

設問一

趣旨

目的や意図に応じて、文章全体の構成を考えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。

■評価の観点

書く能力

解答類型

| 問題番号 | | 解 答 類 型 | | | 正 答 | |
|------|---|---------|-------------|--|-----|---|
| ② | 一 | 1 | 1 と解答しているもの | | | |
| | | 2 | 2 と解答しているもの | | | ◎ |
| | | 3 | 3 と解答しているもの | | | |
| | | 4 | 4 と解答しているもの | | | |
| | | 99 | 上記以外の解答 | | | |
| | | 0 | 無解答 | | | |

■解答類型について

○ 自分の考えを明確に表現するために、目的や相手に応じて文章全体の構成を工夫して書くことが大切である。ここでは、岩田さんが、読者である学級の友達にプラスチックごみの問題を自分のこととして捉えてもらうために、プラスチックについての身近な具体例を最初に書いているという構成の工夫に気付くことが求められる。

○ 【解答類型 1, 3, 4】は、【下書き①】における、岩田さんの文章構成の工夫と、その意図を捉えることができていないと考えられる。

なお、文章全体の構成を考える際には、書き出しに読み手の関心を喚起する事例を書いたり、概説や要約を活用したりするなども目的によっては有効な方法である。したがって、本設問の選択肢 1 の「疑問に思ったことを最初に書いている」、選択肢 3 の「行動することの重要性を最初に書いている」、選択肢 4 の「全体を要約した文章を最初に書いている」も、他の場合ではそれぞれ構成の工夫として考えられる。

○ 【解答類型 2】は、【下書き①】における、岩田さんの文章構成の工夫と、その意図を捉えることができていないと考えられる。

(参考)

○関連する問題

| 問題番号 | 問題の概要 | 正答率 | 解説資料 | 報告書 |
|--------|--|-------|-------------|-------------|
| H28B②三 | 「早ね早起き」活動の報告文で課題を取り上げた効果として適切なものを選択する | 58.5% | P. 44～P. 51 | P. 60～P. 69 |
| H29B②一 | 【緑のカーテン作りへの協力お願い】における文章の構成の工夫として当てはまるものを選択する | 71.0% | P. 50～P. 57 | P. 64～P. 73 |
| H30B②一 | 「かみかみあえ」についての【おすすめ文章】の最初の部分に「 」のように書いた理由として適切なものを選択する | 57.8% | P. 45～P. 51 | P. 60～P. 67 |

設問二

趣旨

事実と意見とを区別して書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想，意見などとを区別するとともに，目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度

書く能力

解答類型

| 問題番号 | 解答類型 | 正答 |
|------|--|----|
| ② | 二 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① プラスチックがずっと残ってしまう理由について，【本の一部】から言葉や文を取り上げて書いている。 ② 岩田さんが，何という本から言葉や文を取り上げて書いたのかが分かるように書いている。 ③ 書き出しの言葉に続けて，30字以上，80字以内で書いている。 (正答例) ・ (けれども,)「プラスチックのひみつ」という本によると，プラスチックはほとんどが石油から作られているので，自然の中では分解されずに，ずっと残ってしまうそうです。(78字) | |
| | 1 条件①，②，③を満たしているもの | ◎ |
| | 2 条件①，②は満たしているが，条件③は満たしていないもの | |
| | 3 条件①は満たしているが，条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 | |
| | 4 条件②は満たしているが，条件①は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 | |
| | 99 上記以外の解答 | |
| | 0 無解答 | |

■解答類型について

- 岩田さんは，【下書き①】の「■ 知っていますか プラスチックごみの問題」に，プラスチック製品の具体例やプラスチックごみの問題の現状について書いている。ここでは，【本の一部】から，プラスチックがずっと残ってしまう理由について取り上げ，その理由は，本に書かれた事実であるということを明確にして書く必要がある。
- 【解答類型1】は，【本の一部】からプラスチックがずっと残ってしまう理由について取り上げ，何という本から言葉や文を取り上げて書いたのかが分かるように，30字以上，80字以内で書いている。

- 【解答類型 2】は、【本の一部】からプラスチックがずっと残ってしまう理由について取り上げ、何という本から言葉や文を取り上げて書いたのかが分かるように書いている。しかし、30字以上、80字以内で書いていない。
- 【解答類型 3】は、【本の一部】からプラスチックがずっと残ってしまう理由について取り上げて書いている。しかし、何という本から言葉や文を取り上げて書いたのかが分かるように書いていない。具体的な例としては、以下のようなものが考えられる。

(例)

- ・ （「けれども、」以下、この書き出しの言葉は省略する。）プラスチックはほとんどが石油から作られているので、自然の中では分解されずに、ずっと残ってしまうのです。(56字)

このように解答した児童は、「プラスチックのひみつ」という本に書かれた事実であるということを明確にして書いていない。

- 【解答類型 4】は、何という本から言葉や文を取り上げて書いたのかが分かるように書いている。しかし、【本の一部】からプラスチックがずっと残ってしまう理由について取り上げて書いていない。具体的な例としては、以下のようなものが考えられる。

(例)

- ・ 「プラスチックのひみつ」という本によると、軽くてじょう夫で持ち運びがしやすいえ、さまざまな製品に加工することができるそうです。(69字)

(参考)

○関連する問題

| 問題番号 | 問題の概要 | 正答率 | 解説資料 | 報告書 |
|---------------------|--|-------|-------------|-------------|
| H25B ² 二 | 【ずかんの一部】の中から花火師の苦労が具体的に書かれている内容を引用して書く | 26.5% | P. 42～P. 49 | P. 56～P. 64 |
| H29B ² 二 | 【友達の考え】と同じ考えの人を説得するために引用する文章を、【『緑のカーテンを始めよう』の一部】から選択する | 71.1% | P. 50～P. 57 | P. 64～P. 73 |

設問三

趣旨

表を用いた目的を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。

■評価の観点

書く能力

解答類型

| 問題番号 | | 解 答 類 型 | | | 正答 | |
|------|---|---------|-------------|--|----|---|
| ② | 三 | 1 | 1 と解答しているもの | | | |
| | | 2 | 2 と解答しているもの | | | |
| | | 3 | 3 と解答しているもの | | | |
| | | 4 | 4 と解答しているもの | | | ◎ |
| | | 99 | 上記以外の解答 | | | |
| | | 0 | 無解答 | | | |

■解答類型について

- 岩田さんは、【下書き②】に「家の人といっしょに、まずは1週間、プラスチックごみを減らすことに取り組んでみ」ること、「実行できたら□の中に印を入れ、どのくらい実行できているのかをたしかめ」ること、「他にも具体的な行動が見つかったら、書き加えて実行してみ」ること、と書いている。これらのことが、「プラスチックの3R週間 チャレンジ表」を作成して用いた意図であることに着目する必要がある。そして、3Rを意識して実行してもらうために、「具体的な行動」の例を3Rという観点で分類した表を用いていることも捉える必要がある。
- 【解答類型1～3】は、岩田さんが、【下書き②】に「プラスチックの3R週間 チャレンジ表」を書いて用いた目的を捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型4】は、岩田さんが、【下書き②】に「プラスチックの3R週間 チャレンジ表」を書いて用いた目的を捉えることができていると考えられる。

(参考)

○関連する問題

| 問題番号 | 問題の概要 | 正答率 | 解説資料 | 報告書 |
|-------|--|-------|-------------|-------------|
| H31①一 | 公衆電話について調べたことを【報告する文章】で〈資料2〉と〈資料3〉をそれぞれどのような目的で用いているか、適切なものを選択する | 71.3% | P. 12～P. 23 | P. 20～P. 37 |

設問四(1)

趣旨

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- (1) ウ 文字に関する事項
- (ア) 第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

解答類型

| 問題番号 | | 解 答 類 型 | | 正答 |
|------|---------------|---------|-------------------------------------|----|
| ② | 四 (1) ア | 1 | 「非常」と解答しているもの | ◎ |
| | | 2 | 「ひ」を「非」と解答しているが、「じょう」を「常」と解答していないもの | |
| | | 3 | 「ひ」を「非」と解答していないが、「じょう」を「常」と解答しているもの | |
| | | 99 | 上記以外の解答 | |
| | | 0 | 無解答 | |

■解答類型について

- 【解答類型1】は、「ひじょう」を文の中で正しく書くことができている。
- 【解答類型2】は、「ひ」を「非」と正しく書くことはできているが、「じょう」を「常」と正しく書くことができていない。
- 【解答類型3】は、「じょう」を「常」と正しく書くことはできているが、「ひ」を「非」と正しく書くことができていない。

設問四(2)

趣旨

送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項

(ウ) 送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

解答類型

| 問題番号 | | 解 答 類 型 | | 正答 |
|------|---------------|---------|-------------|----|
| ② | 四 (2) イ | 1 | 1 と解答しているもの | |
| | | 2 | 2 と解答しているもの | |
| | | 3 | 3 と解答しているもの | ◎ |
| | | 99 | 上記以外の解答 | |
| | | 0 | 無解答 | |
| | 四 (2) ウ | 1 | 1 と解答しているもの | |
| | | 2 | 2 と解答しているもの | ◎ |
| | | 3 | 3 と解答しているもの | |
| | | 99 | 上記以外の解答 | |
| | | 0 | 無解答 | |

■解答類型について

イ 【解答類型1, 2】は、「あらため」を文の中で送り仮名に注意して正しく使うことができていない。

【解答類型3】は、「あらため」を文の中で送り仮名に注意して正しく使うことができています。

ウ 【解答類型1, 3】は、「たしかめ」を文の中で送り仮名に注意して正しく使うことができていない。

【解答類型2】は、「たしかめ」を文の中で送り仮名に注意して正しく使うことができています。

設問五

趣旨

文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- (1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項
- (イ) 修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な理解をもつこと。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

解答類型

| 問題番号 | | 解 答 類 型 | | | 正答 |
|------|---|---------|---|--|----|
| 2 | 五 | 1 | 「(大切なことは,) 行動することだと思います (。)」などと解答しているもの | | ◎ |
| | | 99 | 上記以外の解答 | | |
| | | 0 | 無解答 | | |

■解答類型について

- 岩田さんが【下書き①】に書いたAの文は、「大切なことは」と「行動することが大切だと思います」とが照応しておらず、「大切」という内容の重複もある。文の意味を明確に伝えるために、「大切なことは」に照応するように書き直す必要がある。
- 【解答類型1】は、----- 部と ——— 部とのつながりに着目し、Aの文を正しく書き直すことができている。

(参考)

○関連する問題

| 問題番号 | 問題の概要 | 正答率 | 解説資料 | 報告書 |
|--------|--|-------|-------------|-------------|
| H27A2二 | 文の型として適切なものを選択する | 71.9% | P. 17～P. 19 | P. 28～P. 31 |
| H30A5 | 【春休みの出来事の一部】の中で、----- 部と ——— 部とのつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す | 35.8% | P. 25～P. 27 | P. 37～P. 39 |

3. 出典等

【下書き①】，【下書き②】，【本の一部】は、小学生向けの新聞や、環境省のプラスチックごみに関する情報などを参考にした。

国語 3 本を選んで友達に紹介する（椋鳩十「金色の足あと」）


【物語の最後の部分】

【ふせん①】

「うろたえました」という言葉から、
氣付まが伝わってくる。

【木村さんの考え】

人と動物との心の交流は、この物語の最後の部分に一番表れていると思う。正太郎とキツネの行動や情景に氣をつけてもう一度読み、心の交流が分かるころをふせんにまどめよう。



木村さん

【物語「金色の足あと」のあらすじ】

山でつかまり、正太郎の家にとらえられた子キツネは、人間になつかず、えさを食べようとしませんでした。子キツネの親たちは、正太郎の家の床下に巣をつくって身をかくし、子キツネに乳を飲ませたり、食べ物をあたえたりします。そして、子キツネがつかれた丸太をかじって、何とか助け出そうとします。正太郎は、必死に子キツネを救おうとする親キツネの深い愛情に心を打たれ、そつとえさをやりながら、応援していました。しかしある日、正太郎の父が、親キツネを見つけ、銃でねらいます。正太郎は、とっさに銃身にとびつき、親キツネを助けたのです。

【ふせん④】

「まばい朝日」と「足あと」は、金色にかがやいて」といふところから、正太郎がキツネたちをかがやかしめるのを感じているということが分かる。

（椋鳩十「金色の足あと」による）

【ふせん③】

「じし」とまぶんの音があつくなる」といふところから、正太郎の感動が伝わってくる。

【ふせん②】

「しり」といふ言葉から、二匹のキツネが正太郎を助けようと、必死に働きかけているすがたが分かる。

二 「ふせん①」の に入る内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 安田さんが、ギツネのいないことにおどろき、もらわれていったことにほっとしている
- 2 正太郎が、ギツネのいないことにおどろき、もらわれていったことにほっとしている
- 3 安田さんが、ギツネのいないことにおどろき、どこにいったのかを心配している
- 4 正太郎が、ギツネのいないことにおどろき、どこにいったのかを心配している

二 木村さんは、「ふせん②」を書いたあと、文の意味をもう一度確認するために、―― 部イとウの文を読み返しています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

- (1) 次のイの文について、~~~~~部がくわしくしている言葉として適切なものを、あとの1から3までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

(椋鳩十「金色の足あと」による)

- 1 すいぶん
- 2 時間が
- 3 すぎました

- (2) 次のウの文について、~~~~~部がくわしくしている言葉として適切なものを、あとの1から3までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

(椋鳩十「金色の足あと」による)

- 1 正太郎の
- 2 ほおやくちびるを
- 3 なめまわし

三 木村さんは、「ふせん③」に、「じつとまぶたのおくがあつくなる」というところから、正太郎の感動が伝わってくる、と書きました。木村さんは、正太郎が何に感動したと考えていますか。その内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 正太郎がこゝえないように、親ギツネがからだの上のつてあたためたこと。
- 2 正太郎が谷の底に落ちてしまいうようになったところを、親ギツネが助けたこと。
- 3 親ギツネが正太郎のまぶたをなめ、まぶたのおくまであたたかくなったこと。
- 4 親ギツネがとらえられた子ギツネを助けるために、丸太をかじり続けたこと。

四 木村さんは、―― 部オを―― 部ア、エと関係づけて読み、「ふせん④」を書きました。木村さんが「ふせん④」に、「正太郎がギツネたちをかがやかしいものと感じている」と書いた理由の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 木村さんは、まばゆい朝日に照らされて、深い林のおくまで春の雪がさらさらこがやいていると考えたから。
- 2 木村さんは、正太郎が親ギツネの行動に心を動かされ、オツネの親子の幸せを尋んでいると考えたから。
- 3 木村さんは、「ギツネの親たち」、「二ひきで」、「ギツネども」という言葉から登場人物の様子が分かると考えたから。
- 4 木村さんは、朝日で金色にかがやく風景に、正太郎の父のすがすがしい気持ちが表示されていると考えたから。

1. 出題の趣旨

物語を読んで、叙述を基に登場人物の相互関係や心情などを捉え、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

本問は、平成29年度【小学校】国語B³三（正答率43.9%）において、「物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめること」に課題が見られたことを踏まえて出題した。

物語などを読む際は、時間や場所、問題状況などの設定、情景や場面の様子の変化、主人公などの登場人物、登場人物の性格や行動、会話及び心情の変化、事件の展開と解決などの基本的な構成要素を、叙述を基に理解した上で、想像を豊かにしながら、読むことが大切である。高学年では、登場人物の相互関係から人物像やその役割を捉え、そのことによって、内面にある深い心情も合わせて捉えること、象徴性や暗示性の高い表現や内容などに気付き、自分の考えをまとめることが求められる。

本問では、人と動物との心の交流が描かれている物語を友達と紹介し合うために、棕鳩十が書いた「金色の足あと」を読み、自分の考えをまとめる場面を設定した。木村さんは、紹介したい場面をもう一度読み、叙述から伝わってくる心の交流を付箋にまとめている。ここでは、場面の様子や登場人物の心情などの叙述を基に、自分の考えをまとめることが求められる。その際、主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係など、文の構成に注意して読むことも大切である。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第3学年及び第4学年〕 C 読むこと

エ 紹介したい本を取り上げて説明すること。

2. 解説

設問一

趣旨

叙述を基に場面の様子を捉え、登場人物の気持ちを想像することができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕 C 読むこと

ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。

■評価の観点

読む能力

解答類型

| 問題番号 | | 解 答 類 型 | | | | 正答 | |
|------|---|---------|-------------|--|--|----|---|
| 3 | 一 | 1 | 1 と解答しているもの | | | | |
| | | 2 | 2 と解答しているもの | | | | |
| | | 3 | 3 と解答しているもの | | | | |
| | | 4 | 4 と解答しているもの | | | | ◎ |
| | | 99 | 上記以外の解答 | | | | |
| | | 0 | 無解答 | | | | |

■解答類型について

- 木村さんが、叙述を基に正太郎の気持ちについて【ふせん①】にまとめていることを捉える必要がある。ここでは、「きょうこそ、子ギツネをにがしてやろう」、「子ギツネがいない」、「正太郎は心配そうに」などの前後の叙述から場面の様子を捉え、正太郎の気持ちを想像することが求められる。
- 【解答類型1】は、「誰が」、「どのような気持ちになったのか」を捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型2】は、「誰が」を捉えることはできている。しかし、「どのような気持ちになったのか」を捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、「どのような気持ちになったのか」を捉えることはできている。しかし、「誰が」を捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型4】は、「誰が」、「どのような気持ちになったのか」を捉えることができていると考えられる。

(参考)

○関連する問題

| 問題番号 | 問題の概要 | 正答率 | 解説資料 | 報告書 |
|---------|---|-------|-------------|-------------|
| H26A 5 | 物語の一部に入る適切な人物の名前を書く | 65.5% | P. 24～P. 26 | P. 35～P. 37 |
| H29B 3一 | 「きつねの写真」を読み、登場人物の相互関係と場面についての描写を捉え、 A に当てはまる言葉として適切なものを選択する | 76.0% | P. 58～P. 67 | P. 74～P. 81 |

設問二(1)・(2)

趣旨

文の中における修飾と被修飾との関係を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項

(き) 修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な理解をもつこと。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

解答類型

| 問題番号 | | 解 答 類 型 | | | | 正答 | |
|------|----------|---------|-------------|--|--|----|---|
| ③ | 二 (1) | 1 | 1 と解答しているもの | | | | ◎ |
| | | 2 | 2 と解答しているもの | | | | |
| | | 3 | 3 と解答しているもの | | | | |
| | | 99 | 上記以外の解答 | | | | |
| | | 0 | 無解答 | | | | |
| | 二 (2) | 1 | 1 と解答しているもの | | | | ◎ |
| | | 2 | 2 と解答しているもの | | | | |
| | | 3 | 3 と解答しているもの | | | | |
| | | 99 | 上記以外の解答 | | | | |
| | | 0 | 無解答 | | | | |

■解答類型について

- (1) 【解答類型1, 3】は、修飾と被修飾との関係を捉えることができておらず、文の構成を理解することができていないと考えられる。

【解答類型2】は、修飾と被修飾との関係を捉えることができており、文の構成を理解することができていると考えられる。

- (2) 【解答類型1, 2】は、修飾と被修飾との関係を捉えることができておらず、文の構成を理解することができていないと考えられる。

【解答類型3】は、修飾と被修飾との関係を捉えることができており、文の構成を理解することができていると考えられる。

設問三

趣旨

登場人物の相互関係に基づいた行動を表す叙述から、心情を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。

■評価の観点

読む能力

解答類型

| 問題番号 | 解 答 類 型 | | | | 正答 |
|------|---------|----|-------------|--|----|
| ③ | 三 | 1 | 1 と解答しているもの | | ◎ |
| | | 2 | 2 と解答しているもの | | |
| | | 3 | 3 と解答しているもの | | |
| | | 4 | 4 と解答しているもの | | |
| | | 99 | 上記以外の解答 | | |
| | | 0 | 無解答 | | |

■解答類型について

- 木村さんが、正太郎と親ギツネの行動を表す叙述から登場人物の相互関係や心情を捉えて【ふせん③】にまとめていることを捉える必要がある。
- 【解答類型1】は、正太郎と親ギツネとの相互関係やこれまでの場面の様子などから、正太郎が何に感動したのかを捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型2】は、正太郎が親ギツネに助けられて感動したことは捉えることができる。しかし、「正太郎も、雪といっしょに、まっさかさまに落ちてしまった」ということを捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、「じじっとまぶたのおくがあつくなるのをおぼえました」が、親ギツネとの関係に基づいた正太郎の感動を表現した叙述であることを捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型4】は、親ギツネが丸太をかじり続けたことに正太郎が感動したことは捉えることができる。しかし、「じじっとまぶたのおくがあつくなるのをおぼえました」を前後の叙述と関係付けて捉えることができていないと考えられる。

(参考)

○関連する問題

| 問題番号 | 問題の概要 | 正答率 | 解説資料 | 報告書 |
|-------|-----------------------------|-------|-------------|-------------|
| H27A⑥ | 登場人物の関係についての説明として適切なものを選択する | 67.7% | P. 28～P. 30 | P. 41～P. 43 |

設問四

趣旨

複数の叙述を関係付け、登場人物の心情について自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。

■評価の観点

読む能力

解答類型

| 問題番号 | | 解 答 類 型 | | 正答 |
|------|---|---------|-------------|----|
| 3 | 四 | 1 | 1 と解答しているもの | ◎ |
| | | 2 | 2 と解答しているもの | |
| | | 3 | 3 と解答しているもの | |
| | | 4 | 4 と解答しているもの | |
| | | 99 | 上記以外の解答 | |
| | | 0 | 無解答 | |

■解答類型について

- 木村さんが、登場人物の相互関係や心情、場面についての複数の叙述を関係付けて読み、——— 部オに書かれた情景から分かる正太郎の心情を【ふせん④】にまとめていることを捉える必要がある。
- 【解答類型1】は、——— 部ア，エの叙述と関係付けて、——— 部オに書かれた情景に正太郎の心情が暗示的に表現されていることを捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型2】は、——— 部ア，エの叙述と関係付けて読み、——— 部オに書かれた情景から、正太郎の心情を捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、——— 部ア，エ，オの叙述からキツネを指す言葉のみに着目しており、キツネと正太郎との相互関係に基づいた正太郎の心情を捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型4】は、——— 部オに書かれた情景に心情が暗示的に表現されていることは捉えることができていない。しかし、正太郎とキツネとの相互関係に基づいて捉えることができていないと考えられる。

(参考)

○関連する問題

| 問題番号 | 問題の概要 | 正答率 | 解説資料 | 報告書 |
|---------------------|---|-------|-------------|-------------|
| H29A ⁴ 一 | 俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する | 79.5% | P. 26～P. 28 | P. 34～P. 38 |
| H29B ³ 三 | 「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんにとび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く | 43.9% | P. 58～P. 67 | P. 74～P. 81 |
| H30A ⁴ | 『くらやみの物語』を読んで心に残ったことを一文を取り上げて説明する際に、その一文が心に残った理由として適切なものを選択する | 74.1% | P. 22～P. 24 | P. 32～P. 35 |

3. 出典等

【物語の最後の部分】は、棕鳩十『片耳の大シカ』（1975年12月 偕成社）による。

Ⅳ 解答用紙（正答（例））

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

小学校第6学年 国語 解答用紙

《ここから右には解答を書いてはいけません。》

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 一 | 1 |
| | 二 | 4 |
| | 三 | <p>※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。</p> <p>ぼくが、みなさんに伝えたいインスタント食品のよさは、</p> <p>◆いろいろな種類があるので好みに合わせて選ぶことができるところや、一人分だけ作るこ_{40字}とができるので作りすぎないところ_{60字}です。</p> |
| | 例 | |

2と3の解答らんは、裏^{うら}面^{めん}にあります。

《ここから右には解答を書いてはいけません。》

《ここから下には解答を書いてはいけません。》

| | | | |
|---|------|----|------|
| 組 | 出席番号 | 男女 | 個人番号 |
| | | | |

| |
|--------------------------------|
| 個人番号シール |
| ここに 個人番号シールを はって ください |

《ここから左には解答を書いてはけません。》

| |
|-----|
| 一 |
| 4 |
| 二 |
| (1) |
| 2 |
| 二 |
| (2) |
| 3 |
| 三 |
| 1 |
| 四 |
| 2 |

2

| | | | |
|---|---------|---|-----------------|
| 一 | 2 | ※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。 | |
| 例 | 二 | けれども、 のひみつ」という本によ と、プラスチックはほとん どが石油から作られてい ので、自然の中では分解さ れずに、ずっと残ってしま うそうです。 | 80字 |
| 三 | 4 | | |
| 四 | ア | 非常 | |
| | (1) | イ | 3 |
| | (2) | ウ | 2 |
| 五 | 大切なことは、 | | 例 行動することだと思います。 |

※1から3までの番号を
書きましょう。

国語

《ここから右には解答を書いてはけません。》

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

V 点字問題（抜粹）

点字問題は、通常問題と同様の趣旨・内容で作成している。ただし、点字を使用して学習する児童生徒の情報取得の特性や点字による表現方法等を考慮し、児童生徒が調査問題で問われている内容及び解答に必要な情報を的確に把握し、問題の趣旨に沿った解答に臨むことができるように、例えば、次のような配慮を行っている。

(1) 問題文などの記述及びレイアウト等について

必要に応じて、文章や図表等の記述を変更したり、提示する順序を入れ替えたり、ページ配置を変更したりするなどの調整を行う。

(2) 図やグラフの提示の仕方について

提示する情報の精選を行った上で、表などに置換したり、必要かつ可能なものは点図（点を用いて示した図）で示したりするなど、提示方法の変更・調整を行う。

(3) 出題形式の変更及び代替問題について

児童生徒の学習内容や生活経験等を考慮し、通常問題の内容をそのまま点字化して出題することが適当ではない問題については、出題の趣旨等を踏まえた上で、出題形式の変更や代替問題の作成を行う。

なお、上記のような配慮に伴い、解答種類の調整等を行った問題については、P. 46～P. 47に問題及び解答類型（点字問題用）を示している。

＜点字問題における具体的な配慮例＞

【通常問題】 2 ニ・四（１）（２）

【本の一部】「プラスチックのひみつ」という題名の本

◇ プラスチックを買く使おう

プラスチックは、軽くて丈夫で持ち運びがしやすいうえ、さまざまな製品に加工することができます。わたしたちの生活を見回してみると、プラスチック製品はどんどん増えていく、生活になくはならないものとなっています。

こんなに便利なプラスチックですが、実はプラスチックの多くは自然には分解されません。植物や動物などから作られるものは、土や水の中で微生物によって分解され、なくなってしまいます。しかし、わたしたちの身の回りで使用されているプラスチックはほとんどが石油から作られているので、自然の中では分解されません。そのため、ずっと残ってしまうのです。

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※◆の印から書きましょう。どちらで打てばかまいません。続けて書きましょう。

小国-10

一 岩田さんは、読者にプラスチックごみの問題を自分のこととしてとらえてほしいと考え、構成をくふうし、【下書き①】の最初に、自分の内容を書いています。そのくふうとして最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 疑問に思ったことを最初に書いている。

2 身近にある具体例を最初に書いている。

3 行動することの重要性を最初に書いている。

4 全体を要約した文章を最初に書いている。

二 岩田さんは、【下書き①】の【 】に、プラスチックがずっと残ってしまう理由を書くことにしました。そのために資料を探し、本を見つけた。次は、その【本の一部】です。【 】に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

（条件）

- 「本の一部」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 岩田さんが、何という本から言葉や文を取り上げて書いたのか分かるように書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、二十字以上、八十字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

岩田さん

小国-9

(2) 一 つ選んで、その番号を書きましょう。

わたしは、便利だからといってプラスチックを当たり前のように使うという考えを イ あらため、プラスチックごみを減らすためにできることをしたいと思いました。そこで、

1 改らため

2 改ため

3 改め

家の人といっしょに、まずは1週間、プラスチックごみを減らすことに取り組んでみませんか。実行できたら□の中に印を入れ、どのくらい実行できているのかを ア 確かめましょう。

1 確しかめ

2 確かめ

3 確め

小国-13

(1) 四 岩田さんは、【下書き①】と【下書き②】を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた部 ア、イ、ウを漢字に書き直すことにしました。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

記事がありました。わたしは、プラスチックごみが生き物に深くくえいさようをあたえていることに ア ひじょうにおどろきました。かん境省のホームページによると、世界の

ア

※解答は、解答用紙に書きましょう。

小国-12

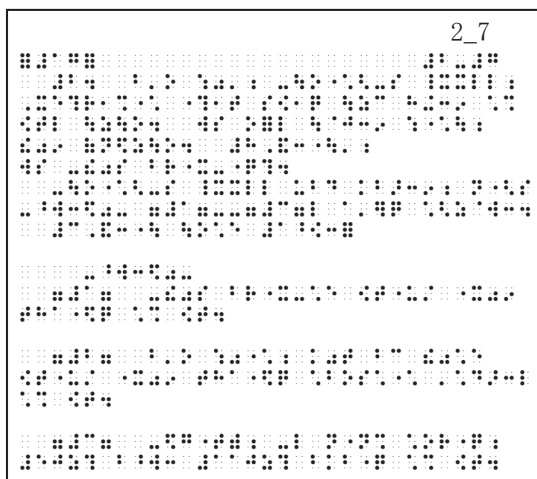
【点字問題】 2 2. 4.

本問では、主に次のような配慮を行った。

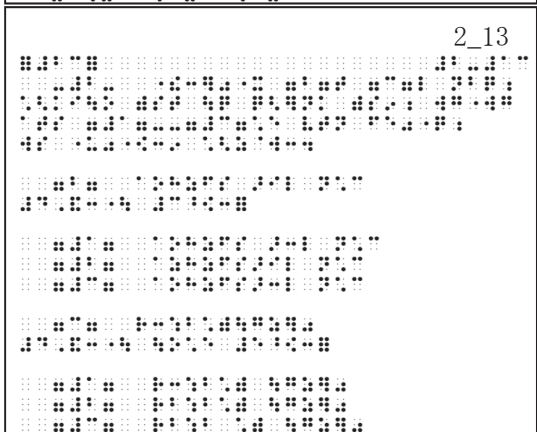
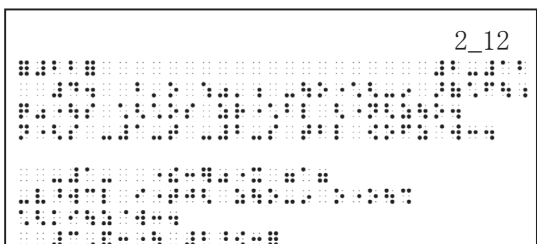
- 「2.」の字数に関する解答条件について、点字で学習する児童にとっての解答のしやすさを考慮し、点字によるマス数に換算して示した。
- 「4.」の既習の漢字を使って書き直したり、適切なものを選んだりする問題については、点字表記の基本である、仮名遣いと分かち書きについて正しく書き直したり、適切なものを選んだりする問題に変更した。

<点字問題（墨点字版）>

（前略）

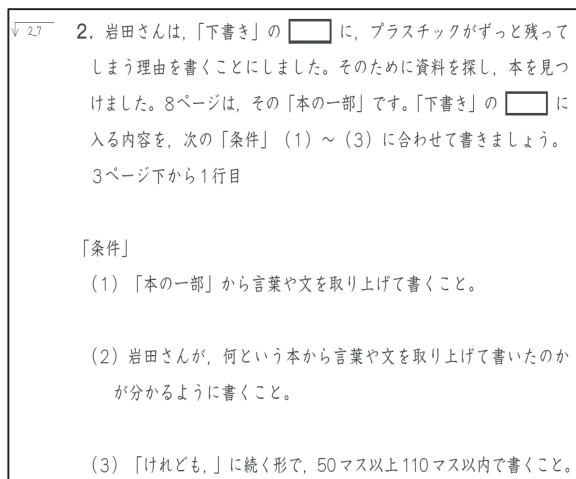


（中略）

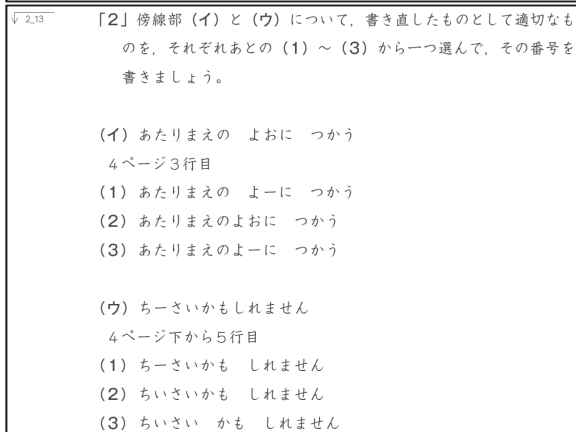
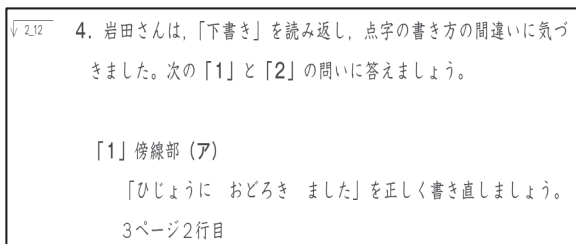


<点字問題（活字版）>

（前略）



（中略）



＜点字問題において解答類型の変更，調整等を行った問題＞

【点字問題】 2 4. 「1」

√ 2.12 4. 岩田さんは、「下書き」を読み返し，点字の書き方の間違いに気づきました。次の「1」と「2」の問いに答えましょう。

「1」傍線部（ア）

「ひじょうに おどろき ました」を正しく書き直しましょう。

3ページ2行目

| 問題番号 | | 解 答 類 型 | | 正答 |
|------|-----------|---------|--------------------------|----|
| 2 | 4. 「1」 | 1 | 「ひじょーに おどろきました」と解答しているもの | ◎ |
| | | 2 | －（該当なし） | |
| | | 3 | －（該当なし） | |
| | | 99 | 上記以外の解答 | |
| | | 0 | 無解答 | |

VI 擴大文字問題（拔粹）

拡大文字問題は、通常問題と同様の趣旨・内容で作成している。ただし、弱視児童生徒の見え方に伴う負担等を軽減するため、通常問題で使用しているA4判の用紙をB4判の大きさに拡大するとともに、以下のような配慮を行っている。

- (1) 原則として文字の大きさを22ポイントとし、UDデジタル教科書体とする。
- (2) 十分な字間及び行間等に設定する。
- (3) 必要に応じて、拡大率やレイアウト等を変更する。

<拡大文字問題における具体的な配慮例>

【通常問題】

1

【家の人の話】


インスタント食品は、調理が簡単にできるから、いそがしいときには助かっているよ。それに、ずいぶん味がよくなったと思う。

それだけではなくて、軽くて持ち運びが楽というところもあるわね。キャンプや登山に行くときには、カップラーメンやカップスープが便利だよ。他にも、いろいろな種類が売られているようね。


いろいろな種類が売られている、と言っていただけれど、どのようなインスタント食品があるのかな。近所のスーパーマーケットの人に聞いてみよう。

【青木さんの考え】

インスタント食品にはどのようなよさがあるのだろう。ぼくは、簡単に作ることができておいしいところだと思うけれど、他の人は、どのようなよさを感じているのかな。家でも食べることがあるから、家の人に聞いてみよう。



家の人



青木さん

【メモ①】

4/17 (金)

○取材をした相手 家の人

○インスタント食品のよさ

・軽くて持ち運びが楽

・いろいろな種類がある

1では、以下のような配慮を行い、次のページのように変更・調整した。

青木さんが取材をして情報を集めている場面の点線囲みの内容が、だれの話を受けて考えたことであるのかを捉えやすくするために、点線囲みの前に「家の人の話を聞いて考えたこと」を付した。

家の人の話を聞いて考えたこと

いろいろな種類が売られている、と言って
いたけれど、どのようなインスタント食品が
あるのかな。

近所のスーパーマーケットの人に聞いてみよう。

【下書き②】

■ やってみよう プラスチックの3R

家の人といっしょに、まずは1週間、プラスチックごみを減らすことに取り組んでみませんか。実行できたら□の中に印を入れ、どのくらい実行できているのかをうたしかめましょう。他にも具体的な行動が見つかったら、書き加えて実行してみましょう。

プラスチックの3R週間 チャレンジ表

| 3 R | 具体的な行動 |
|--------------------|---|
| 減らそう | <input type="checkbox"/> バッグを持参し、レジぶくろをもらわない <input type="checkbox"/> ふたつき容器を使い、ラップの使用を減らす <input type="checkbox"/> コップから飲み、ストローを使わない |
| リデュース (Reduce) | <input type="checkbox"/> 水とうを持ち、ペットボトルを買う回数を減らす <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> |
| くり返し 使おう | <input type="checkbox"/> シャンプーは詰めかえ用を買い、容器をくり返し使う <input type="checkbox"/> 液体石けんは詰めかえ用を買い、容器をくり返し使う <input type="checkbox"/> |
| リユース (Reuse) | |
| 資げんに 変えよう | <input type="checkbox"/> ペットボトルを洗い、せん用の場所にすてる <input type="checkbox"/> 食品用のトレイを洗い、せん用の場所にすてる <input type="checkbox"/> |
| リサイクル (Recycle) | <input type="checkbox"/> |

小国-8

2では、以下のような配慮を行い、次のページのように変更・調整した。

【下書き②】について、通常問題では、1ページで示しているが、拡大文字問題では、十分な字間と行間を確保しつつ、情報とそのまとまりを捉えやすくするために、2ページに割り付けた。また、【下書き②】が1枚で構成されていることを捉えやすくするために、1ページ目の最後に「※ ここには、次のページの「プラスチックの3R 週間 チャレンジ表」が入ります。」を付した。

プラスチックの３Ｒ週間 チャレンジ表

| ３Ｒ | 具体的な行動 |
|------------------------------------|--|
| 減らそう リデュース (Reduce) | <input type="checkbox"/> バッグを持参し、レジぶくろをもらわない <input type="checkbox"/> ふたつき容器を使い、ラップの使用を減らす <input type="checkbox"/> コップから飲み、ストローを使わない <input type="checkbox"/> 水とうを持ち、ペットボトルを買う回数を減らす <input type="checkbox"/> |
| くり返し 使おう リユース (Reuse) | <input type="checkbox"/> シャンプーは詰めかえ用を買い、容器をくり返し使う <input type="checkbox"/> 液体石けんは詰めかえ用を買い、容器をくり返し使う <input type="checkbox"/> |
| 資げんに 変えよう リサイクル (Recycle) | <input type="checkbox"/> ペットボトルをあらい、せん用の場所にすてる <input type="checkbox"/> 食品用のトレイをあらい、せん用の場所にすてる <input type="checkbox"/> |

小国－31

【下書き②】

■ やってみよう プラスチックの３Ｒ

家の人といっしょに、まずは１週間、プラスチックごみを減らすことに取り組んでみませんか。実行できたら□（チェックらん）の中に印を入れ、どのくらい実行できているのかを

うたしかめましょう。

他にも具体的な行動が見つかったら、書き加えて実行してみましょう。

※ ここには、次のページの

「プラスチックの３Ｒ週間
チャレンジ表」が入ります。

小国－30

